

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 0

副理事長 基本方針（案）

総務委員会 担当副理事長 松岡 奨

1 伊都青年会議所は、地域社会と関わりをもつことで運動を展開してまいりました。56年
2 という長きにわたり、次世代へバトンをつないでこられた先輩方がいたからこそ伊都青年
3 会議所の現在があります。メンバー一人ひとりが熱意をもって地域社会と向き合い、「明る
4 い豊かな社会」を実現するためには、このバトンを次世代に託し続けなければなりません。
5 今置かれている状況を鑑み、強固で円滑な組織運営を行うことが必要です。

6 時間を有効に使い、迷わず進める組織づくりを実現するため、組織運営の透明化を目指
7 します。そのためには、新しいことに挑戦し、トライ&エラーで経験値を得ることが大切
8 です。柔軟な思考をもち、多角的な視点で改善を行うことで入会歴や経験値に関係なく、
9 すべてのメンバーが組織の運営や事業構築に積極的に参画できる環境を作ります。次世代
10 を担うメンバーが要職を担う機会が増えていく中、効率的に組織運営、会議運営を行い、
11 質の高い運動を生み出すためには、規律を守りながらも時代や環境に対応できる組織の土
12 台を作り、時代に適した組織であり続けることが必要です。私たち伊都青年会議所のメン
13 バー一人ひとりが熱意をもって課題や問題と向き合うことで、その熱意が他のメンバーに
14 伝播し、友情を育み、固い絆を生むことができます。その結果、伊都青年会議所が誇る多
15 種多様な人財の「熱意」が原動力となり、盤石な組織となることで運動や活動の質を向上
16 させ、好循環を生み出すことができます。それが、伊都青年会議所が目指す地域社会のため
17 の「明るい豊かな社会」の実現に向けた第一歩となり、次世代へとバトンがつながりま
18 す。「熱意」のバトンがもたらす可能性は無限大です。

19 地域社会の「明るい豊かな社会」を実現するために、メンバーが結束して組織の基盤を
20 築き上げ、「熱意」をもって青年会議所運動に邁進し、対外へ発信することで、地域社会を
21 照らす光となり、伊都青年会議所が地域社会にとってなくてはならない組織になると確信
22 します。